

社会問題を自分事とし、アーティストと地域が生み出す
舞台作品づくり及びフォーラム 【フォーラム部門】

演劇教育フォーラム

教育現場、特別支援、多言語の方たちとの
演劇的な手法を用いた取り組みから見えてくる
未来の芸術文化の在り方

アート
×
教育
×
社会問題

2024.1.20 (土)

19:00-21:15

ルネこだいら

レセプションホール



基調講演

平田オリザ氏

「新しい学力観 新しい学校観

—なぜ、いま、コミュニケーション教育なのか—

フォーラム内容

挨拶 白井亨 (小金井市長)

実践報告① 「こがねい子ども創作舞台プロジェクト

行政・地域・専門家が連携し行う取り組み」 大熊雅士/むらまつひろこ

実践報告② 「外国にルーツをもつ子どもとその家族を対象に演劇的手法を用いた取り組み

「にほんごであそぼう」プロジェクトとは～兵庫県小野市での実践報告～」 河嶋栄里子

基調講演 平田オリザ

対談 「アーティストが公教育の中で活かす役割～アーティストと教員が伴走する先駆的事例」

平田オリザ・大熊雅士・村上聡恵・まんぼ (小山裕嗣) ・むらまつひろこ

全体司会：東桜子

お申込み

参加費：2,000円 (一般)

1,500円 (学生)

定員120名 定員になり次第締め切らせていただきます。

こちらのpeatix→
または、メールにて
お申込みください。



メール：playkidstheater3@gmail.com

<https://www.playkidstheater.jp/>

主催：一般社団法人

プレイキッズシアター

特定非営利活動法人遊び・文化NPO 小金井こらぼ

協力：演劇教育ナレッジフォーラム シェアリング・ラーニング

後援：小金井市 小金井市教育委員会

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】



教育現場、特別支援、多言語の方たちとの演劇的な手法を用いた取り組みから見てくる未来の芸術文化の在り方

いま、貧困問題や不登校など社会問題を解決する手段として、アーティストが学校現場に出向き、演劇的な手法を用いた活動を行っている地域があります。また多言語の子どもたちが地域と交流をする目的や、特別支援の方々の就労支援の一環として等、演劇的な手法は近年多岐に渡り取り入れられ注目を集めています。アーティストたちが行う演劇的な活動は、一体どのようなものなのでしょう。文化芸術活動と社会貢献活動が融合することで、一体そこに何が生まれるのでしょうか。演劇の持つ力は、一体どのようなものなのでしょうか。

基調講演に平田オリザ氏をお招きし、演劇的な手法を軸に、芸術文化の在り方をインクルーシブな視点で考え、アーティストたちがどのように社会課題に向き合い取り組んで来たのか、次世代にどのように繋いで行くべきか、我々が当事者となり未来を考えるフォーラムを開催します。

登壇者プロフィール

平田オリザ

(劇作家、演出家、芸術文化観光専門職大学学長)

国際基督教大学在学中に劇団「青年団」を旗揚げ、こまばアゴラ劇場を拠点に国内外で活動。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞、2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2019年より兵庫県豊岡市日高町に移住、江原河畔劇場芸術総監督、豊岡市芸術文化参与ほかを務める。



大熊雅士

(小金井市教育長)

公立小学校教諭から、東京学芸大学附属世田谷小学校教諭・同学教職大学院特命教授、カウンセリング研修センター学舎プレブ室長を経て、2013年NPO法人元気プログラム作成委員会を立ち上げ。文部科学省の教育課程編成委員、2018年より小金井市教育長を務める。



河嶋栄里子

多文化共生マネージャー (NPO法人 小野市国際交流協会 副理事長)

長年にわたるネットワークを活かして、協会のイベント、市内小中学校での国際理解授業や、町内の人権学習会などへ外国人住民とともに外向き交流する活動をコーディネート。多文化共生社会実現を掲げ『人と人との繋ぐ』を自らのライフワークとして活動している。

小野市教育委員、保護司、「入門・やさしい日本語」認定講師、愛知県出身



村上聡恵

(小金井市小学校教員)

東京都小金井市立南小学校教諭。前任校である軽井沢風越学園で演劇教育に出会い、実践を積み重ねている。長野県「アートによる学び」推進事業講師。共著『「校内研究・研修」で職員室が変わった！—2年間で学び続ける組織に変わった小金井三小の軌跡』 『担任1年目 人間関係がうまくいく84の方法』



まんぼ (小山裕嗣)

(演劇教育ナレッジフォーラム世話人/演出家・演劇共育ファシリテーター・ラジオ制作ディレクター)

16歳よりスタンダラスキーをベースとしたヨーロッパ式の俳優教育を5年間体系的に受け、慶応SFCにて演劇教育活動を本格化。2019年長野県軽井沢町に移住し、2023年軽井沢町議会議員に初当選。現在は、議員活動と共に、演劇教育の公教育導入に向けて日々奮闘している。



むらまつひろこ

(一般社団法人プレイキッズシアター代表理事)

明治大学仏文卒業後、ワルシャワ大学、University of NY、上智大学にて心理学を学ぶ。認定心理士。演出助手として新国立劇場オペラ研修所等で研鑽を積んだ後、子ども達の個性を引き出す舞台創作に取り組む。その様子はドキュメンタリー映画やメディア・TVでも取り上げられ、内閣官房・孤独孤立対策とのコラボ企画等活動の幅を広げている。



「社会問題を自分事とし、アーティストと地域が生み出す舞台作品づくり及びフォーラム」事業とは

小金井市を中心に、子育て世代、高齢者、多世代と連携し、コミュニティから見てくる社会問題に、アーティストらとともに向き合い、文化芸術と地域コミュニティとが融合したインクルーシブな社会を目指す企画。公募で集まった子どもたちとアーティストによる『創作舞台プロジェクト』と、兵庫県豊岡市や長野県で始まっている演劇的な手法を用いた学校での取り組みなどを紹介し、共に考える『フォーラム』との、二本立てで事業を実施しています。

二本立て事業

創作舞台プロジェクト 2023 はこら→

『今のぼくたちの声』

2024年1月5日(金)PM5:00~
6日(土)AM9:40~
小金井宮路楽器ホールにて



主催：一般社団法人プレイキッズシアター 特定非営利活動法人遊び・文化NNPO 小金井こらぼ
協力：演劇教育ナレッジフォーラム シェアリングラーニング
後援：小金井市 小金井市教育委員会
助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

